

ご挨拶



新潟原動機株式会社

代表取締役社長

馬場五郎

製造業は程度の差こそあれ、少なからず環境に大きな負荷を与えております。とくに、当社は国産初のディーゼルエンジンを開発して以来、数多くのディーゼルエンジン、ガスエンジン、ガスタービンを製造しており、環境への負荷は大きいものがあると自覚しております。従って、これら事業環境に伴う環境負荷低減や環境技術開発の促進については、当社の最大のテーマとして取り組んでおります。

幸い当社には、ガスエンジンやガスタービンなどCO₂削減に有効な商品を持っており、バイオマスガス燃焼などの環境関連の優れた技術もあります。2001年9月にISO14001を認証取得して以来、地球環境保全へ向けて、積極的に企業活動の推進を図ってきております。

また、現在、コンプライアンスや内部統制などの社内体制の整備が急務となっていており、当社としても【業務の適正を確保する】をキーワードにして各部門の業務活動を展開しております。

業務の適正を確保するためには次のことを行っております。

- 1) 業務を有効にかつ効率的に推進する。
- 2) 事業活動にかかわる法令等を遵守する。
- 3) 人財を保全する。

ここで、有効とは事業活動の目的及び業務の目的を数値化し、それを100%達成することであり、効率的とはそれを達成しようとするときに、最小の資源で最大のアウトプットを出すことと考えております。「現状に満足せず常に進化し続ける企業」を目指して取組みを継続してまいります。

最後に、地球環境問題への取組みは重要な要素であり、環境問題に積極的に取り組むこと無しには世界的な一流企業となることはおろか、企業としての存続すら危ぶまれる時代になっております。新潟原動機は、従業員一人ひとりの自覚を高めて、業務の適正を確保しつつ企業品質の向上を目指してまいります。